

会計区分	01	一般会計	令和 6 年度 事業評価書				事業主体	02300000	産業振興部 環境課	
大事業	61	6つのまちづくり宣言	款項目	04	衛生費	01	保健衛生費		01	保健衛生総務費
		目指す姿	政策体系に基づかないその他の事業				K P I	-		
中事業	05	主要な取り組み								
小事業	01	ペット等適正管理事業	目標年度	令和6年度						



イン プ ット	事業実施の 背景にある課題	狂犬病予防法に基づいた狂犬病予防注射や、動物の愛護及び管理に関する法律において動物との共存が求められている。 また、ペットを飼っている人と飼っていない人での動物に対する認識の違いに加え、ペットを適正に管理するよう指導していかないと人の生命、身体及び財産に対する侵害並びに生活環境の保全上の支障をきたす恐れがある。				
	対 象	ペットを飼っている市民（動物愛護法） 犬を飼っている市民（狂犬病予防法） 飼い主不明な猫や多頭飼いの飼い主（地域猫及び迷惑動物）				
	目 的	動物との共存 狂犬病予防法に基づいた犬の飼い方を周知し場合によっては指導する 飼い主不明猫の繁殖抑制と地域の公衆衛生を守る				
	概 要	・ ペットの飼い方、その他動物に対する苦情対応 ・ 飼い犬の新規登録、所有者移動、登録抹消等の事務を行う。 ・ 狂犬病予防法に義務付けられた狂犬病予防注射を実施する。 ・ 飼い主不明な猫の不妊治療費を補助し、猫の自然繁殖を抑制する。 ・ 動物の適切な飼い方（フン・尿等）を助言し、地域の公衆衛生を守る				
	事業費（千円）	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	790	1,287	1,096	898	906
決算額		740	974	799	882	502
年間の事業に要する時間 （正職員/正職員以外）		250 / 350				



実 績	実 績	狂犬病予防注射接種率 78.8% 予防注射接種啓発回数 2回 飼い主不明猫不妊等手術 18件
	効 果	ペットを飼育している方に対し正しい飼育についての啓発を行い、飼育していない方で困りごとを相談された方には現地確認や解決に向けた助言を行った。



アウト プ ット	活 動 指 標 （単位）		R02	R03	R04	R05	R06
	予防注射接種啓発	目標値	2	2	2	2	2
		実績値	2	2	2	2	2



アウト カ ム	K P I （単位）		R02	R03	R04	R05	R06
	予防注射接種率	目標値	86	86	86	86	86
		実績値	80	80.2	79.7	74.5	78.8

評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	畜犬登録者に対し通知と未接種者に対し督促の通知を行った。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	飼い主に対し通知を行っているが、狂犬病予防法などの認識や都合で接種されていない方がいたため未達成となった。
	実績からR07年度の 事業の方向性	引き続き注射の接種率を向上していけるよう通知内容を見直したものを送付していき、飼い主に対し接種の重要性を周知していく。

会計区分	01	一般会計	令和 6 年度 事業評価書				事業主体	02300000	産業振興部 環境課
大事業	61	6つのまちづくり宣言	款項目	04	衛生費	01	保健衛生費	06	公害対策費
		目指す姿	政策体系に基づかないその他の事業	K P I	-			目標値	-
中事業	05	主要な取り組み							
小事業	10	環境保全事業	目標年度	令和6年度					



イン
プ
ット

事業実施の 背景にある課題	環境保全を怠ると温室効果ガスの排出や森林伐採により、地球温暖化が進行する。 また、自然環境の破壊や生態系の変化により多くの生物種が絶滅の危機に瀕してし まう恐れがある。 環境基本条例にもあるように、環境への負荷が少なく持続的に発展できる社会の実 現と、豊かで快適な環境の保全の創出に積極的に取り組んでいかなければならない 。					
対 象	・ 河川、地下水の水質 ・ 事業所等の騒音、振動及び悪臭 ・ 大気 ・ 汚染土壌及び地下水					
目 的	安全な環境を維持することで、市民が安心して暮らせる 環境の保全を行い、安全な生活を回復させる					
概 要	・ 公害発生時等の緊急対応（野焼き、空地の管理含む） ・ 水質、騒音等の定点測定により変動を把握 ・ 土壌汚染地域において水質検査と浄化処理を行う ・ 環境教育として地元小学校で川の生きもの調査等を行う					
事 業 費 （千円）		R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	2,036	2,006	2,484	2,937	2,249
	決算額	1,636	1,645	2,211	2,876	1,710
年間の事業に要する時間 （正職員/正職員以外）		2,216 /				0



実 績	実 績	カワゲラウォッチング 362人、河川等水質検査、埋立地水質検査、地下水モニタリング調査、ゴルフ場農薬検査、環境騒音定点観測調査（一般環境騒音、自動車騒音） 苦情処理76件
	効 果	小学校におけるカワゲラウォッチングを行うことで、学童のころから環境問題を身近に感じてもらい、市の環境保全の取り組みを意識してもらうことができた。各自でできる環境保全に取り組んでもらい、皆で豊かで快適な環境保全の創出を行うことにつながれた。定期的に水質や大気等の検査等を行うことで安心安全な環境を維持することができた。



アウト プ ット	活動指標（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
	環境への関心度 カワゲラウォッチング参加人数	目標値	530	530	530	530	530
		実績値	469	600	600	600	362



アウト カ ム	K P I（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
	安心安全な環境の維持 河川水質調査 BOD基準以下 基準値超える件数	目標値				0	0
		実績値				0	0

評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	学校の都合や、川の増水などで、中止の学校があり、例年よりカワゲラウォッチング参加児童数が減少した。今後は市内小学校すべてでカワゲラウォッチングを実施し、地域の水生生物や、自然、河川の水質などに関心をもってもらえるようにする。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	河川の水質は基準値以下で、安全な水質を維持できた。
	実績からR07年度の 事業の方向性	引き続きカワゲラウォッチングなどの啓発活動を行い、河川等の水質検査などの実施により、環境保全に取り組む。公害発生時の対応について、県や所管課と連携を取りながらより迅速に対応できるよう努めていく。

会計区分	01	一般会計	令和 6 年度 事業評価書				事業主体	02300000	産業振興部 環境課	
大事業	61	6つのまちづくり宣言	款項目	04	衛生費	02	清掃費	02	塵芥処理費	
		目指す姿	政策体系に基づかないその他の事業	K P I				目標値	-	
中事業	05	主要な取り組み								
小事業	13	塵芥処理事務費	目標年度	令和6年度						



イン プ ット	事業実施の 背景にある課題	ゴミの分別は環境保護と資源の有効活用のために必要である。廃棄物の量が増え、有害物質が適切に処理されないと環境へ悪影響を及ぼす。				
	対 象	市民				
	目 的	廃棄し処分するごみとリサイクルによる再資源化可能なものの周知促進を図る				
	概 要	カレンダー等を作成し、ごみ分別及び収集日に関する情報を、市民に周知する				
	事業費（千円）	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	1,145	1,578	1,389	1,195	953
	決算額	806	898	1,148	1,140	896
	年間の事業に要する時間 （正職員/正職員以外）	160 / 80				



アウト プ ット	活動指標（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
	アパート等のカレンダー配布事業 所数	目標値	50	200	220	220	180
		実績値	50	245	215	132	154

アウト カ ム	K P I（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
	カレンダー配布数	目標値	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
		実績値	20,000	18,000	20,000	20,000	20,000

実 績	実 績	カレンダー20,000枚配布 アパート等のカレンダー配布事業所数 154カ所
	効 果	カレンダーの配布により、適正なごみの回収日時に排出を促せた。合わせて分別の仕方を掲載し、適正な分別を行ってもらった。

評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	アパートの管理会社も統合されてきており、配布枚数は減らないが事業所数は減ってきているため未達成となった。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	SNSの運用も始めているが、今までの紙によるカレンダーの利用者はすぐには減っていかないと思われる。
	実績からR07年度の 事業の方向性	カレンダーに関しては紙の物も引き続き配布していくが、SNSなどの使用によりペーパーレス化も進めていく。

会計区分	01	一般会計	令和 6 年度 事業評価書				事業主体	02300000	産業振興部 環境課	
大事業	61	6つのまちづくり宣言	款項目	04	衛生費	02	清掃費	02	塵芥処理費	
		目指す姿	政策体系に基づかないその他の事業	K P I				目標値	-	
中事業	05	主要な取り組み								
小事業	14	ごみ収集事業	目標年度	令和6年度						



イン プ ット	事業実施の 背景にある課題	廃棄物の処理及び清掃に関する法律等に基づき、毎日の生活から排出されるごみの収集運搬を行う必要がある。				
	対 象	市民、事業所				
	目 的	ごみ袋の安定供給をすることで市内の衛生環境を適正に保つことが出来る				
	概 要	・ごみ袋の作成販売、集積所の管理、ごみ収集運搬業務の円滑な運用。 ・地域のごみ集積所を適正かつ清潔に管理してもらうための管理費を支給。				
	事業費（千円）	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	204,032	195,723	206,065	206,179	207,757
		決算額	198,032	194,141	202,877	205,619
年間の事業に要する時間 （正職員/正職員以外）		1,400 / 700				



アウト プ ット	活動指標（単位）	R02	R03	R04	R05	R06
	ごみ減量啓発活動	目標値	6	6	6	6
		実績値	4	5	5	3

アウト カ ム	K P I（単位）	R02	R03	R04	R05	R06
	生活系可燃ごみ搬出量	目標値	8,300	9,000	9,000	8,500
		実績値	9,025	9,045	9,047	8,737

実 績	実 績	生活系可燃ごみ ごみ減量啓発活動 集積所管理費支払い ごみ袋作成数等	8,605t 3回 自治会数 168 可燃大 2,130,000枚 可燃小 540,000枚 不燃大 60,000枚 不燃小 30,000枚 資源大 40,000枚 資源小 60,000枚
	効 果	一般家庭ごみを衛生的に処理することができた。	

評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	ホームページやSNSを活用しており、一度表示すると継続的に啓発できるため回数としては未達成であった。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	ごみの排出量の削減については現状では大きく変化するところは少ないところまで来ているため、微減ではあるが未達成となった。
	実績からR07年度の 事業の方向性	今後、プラスチックのリサイクル回収をペットボトルや発泡トレイと同様な回収を行いさらなるごみの減量に努めていく。 新たに、ペットボトルや発泡トレイと同日にネットを設置して品目を指定し回収する。

会計区分	01	一般会計	令和 6 年度 事業評価書			事業主体	02300000	産業振興部 環境課
大事業	61	6つのまちづくり宣言	款項目	04	衛生費	02	清掃費	03 環境整備費
		目指す姿	政策体系に基づかないその他の事業				目標値	-
中事業	05	主要な取り組み	K P I	-				
小事業	18	クリーン作戦事業	目標年度	令和6年度				



イン プ ット	事業実施の 背景にある課題	清潔で美しい環境は地域の魅力やイメージに大きく影響を与える。清掃活動が不十分の場合には地域の魅力が低下してしまう。 また、地域住民の環境美化意識の低下は生活環境にも悪影響を与える。				
	対 象	市民				
	目 的	地域住民の環境美化意識の向上と美しいまちづくりを推進することで衛生環境を適正に保つ				
	概 要	・美濃加茂市全域で一斉に実施されるクリーン作戦の実施				
	事業費（千円）	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	2,211	2,213	2,258	2,349	2,374
	決算額	1,339	1,176	1,586	1,643	1,170
	年間の事業に要する時間 （正職員/正職員以外）	360 / 180				



実 績	実 績	クリーン作戦 5,526人参加（報告のあった自治会の集計） ごみ収集量 7,400kg 内訳 草 3,900kg 草以外 3,540kg （可燃物2,590kg 不燃物・粗大930kg 資源物40kg が れき・特定ごみ200kg）
	効 果	市内公共用地のごみが収集され環境衛生が向上した。



アウト プ ット	活 動 指 標 （単位）		R02	R03	R04	R05	R06
	ごみ収集量（草以外）kg	目標値	2,800	2,600	2,600	2,600	2,600
		実績値	3,430	2,920	2,060	1,700	3,760



アウト カ ム	K P I （単位）		R02	R03	R04	R05	R06
	クリーン作戦参加者数	目標値	13,000	12,000	12,000	12,000	12,000
		実績値	11,449	7,663	9,156	7,809	5,526

評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	パイ捨てなどが多かったため未達成となってしまった。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	クリーン作戦の日程の変更や日程をずらして清掃活動をおこなった自治会があったため未達成となった。
	実績からR07年度 の事業の方向性	引き続き、パイ捨て防止の啓発を行うとともに住民にわかりやすい内容にし、SNSなど各種の媒体を通して周知を行っていく。継続周知をすることで徐々に認知が広がり、目標達成につながると考える。